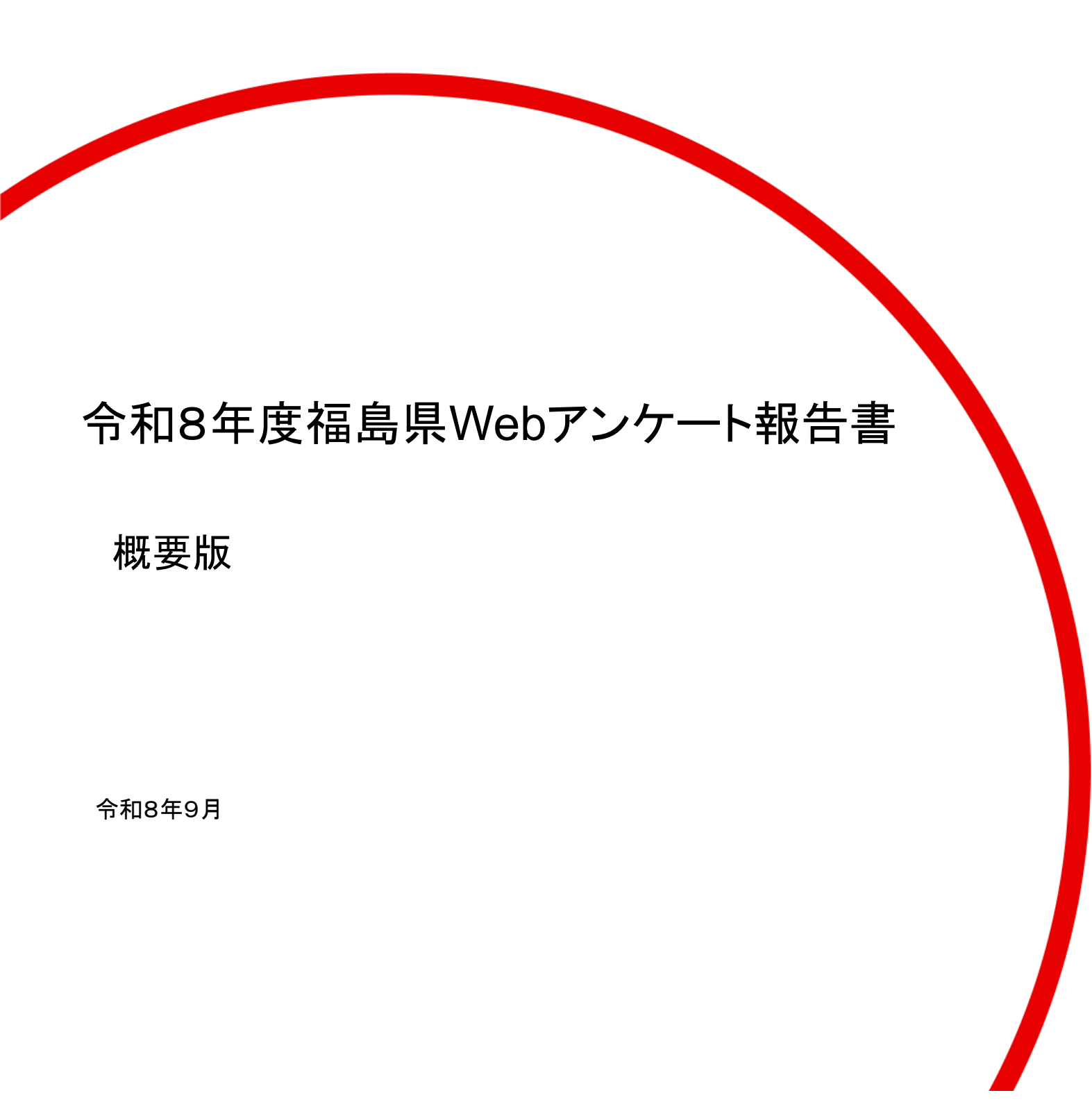


首都圏・近隣県在住者WEBアンケート調査結果（速報版）

令和8年9月9日
ふくしま創生・人口戦略有識者会議
（事務局：復興・総合計画課）



令和8年度福島県Webアンケート報告書

概要版

令和8年9月

目次

- I. 調査概要...3
- II. 調査結果...4
 - 1. 回答者の基本属性...5
 - 2. 福島県へのUターンに関する設問...7
 - 3. 就職後の転出に関する設問...15
 - 4. 子育てに関する設問...21

I.調査概要

■ 調査の目的

- 若者が県外に転出する要因(進学・就職・転職・子育て)や理由を把握・分析し、本県における人口減少対策の取組の検討に活用する。

■ 調査の方法

● 調査対象

- 東京圏(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)及び近隣県(宮城県、山形県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県)在住の福島県出身者(Webアンケート会社に登録している20歳～59歳の男女)。なお、5～18歳の期間に5年間以上福島県に居住した経験がある方を福島県出身者と定義している。

● 調査期間

- 令和8年7月30日(木)
～令和8年8月1日(土)

● 回答件数

- 1,032件
(うち 男性:671件、女性:361件)

【参考】概要版で掲載しているクロス分析表(色などを付けているセル)の見方

「全体」の構成比と比べて、
・10ポイント以上構成比が高い項目は 白抜字
・5ポイント以上構成比が高い項目は 水色塗りつぶし
・5ポイント以上構成比が低い項目は 斜体字
・10ポイント以上構成比が低い項目は 斜体字に下線

Ⅱ.調査結果

■ 概要版で紹介する調査結果は以下の通り

1. 回答者の基本属性

2. 福島県へのUターンに関する設問

(1)福島県へのUターンの意向

(2)福島県との関わり方

(3)ライフスタイルについて

3. 就職後の転出に関する設問

(1)福島県を離れた理由について

(2)仕事を理由に福島県を離れた人向けの設問

(3)仕事以外の生活を理由に福島県を離れた人向けの設問

4. 子育てに関する設問

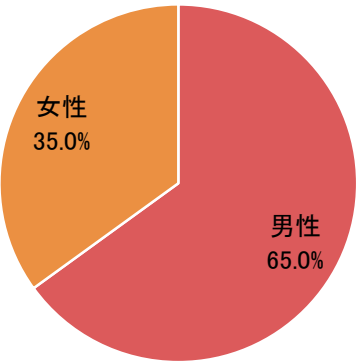
(1)子育て環境について

(2)福島県での子育ての意向

1. 回答者の基本属性

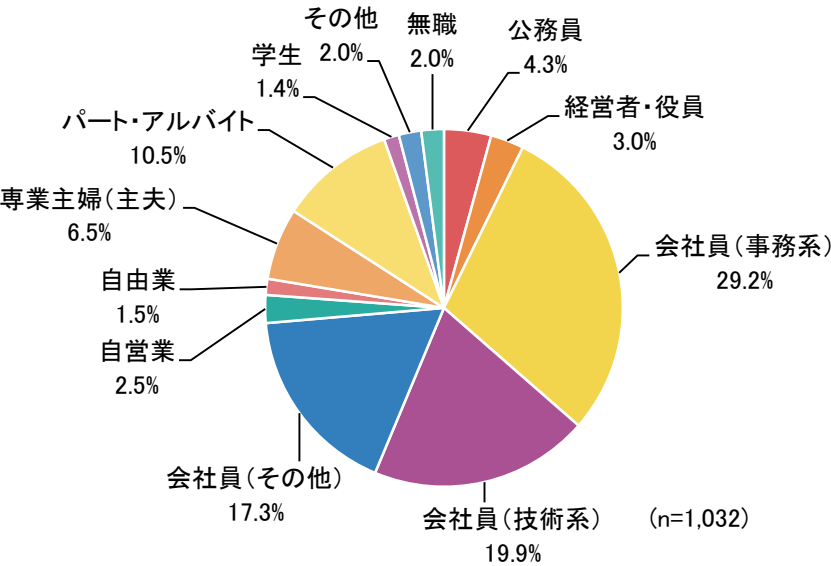
■ 回答者の基本属性は以下の通り

性別



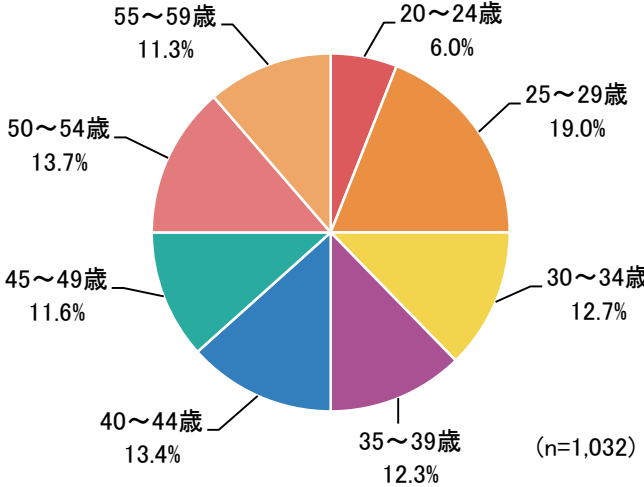
(n=1,032)

職業



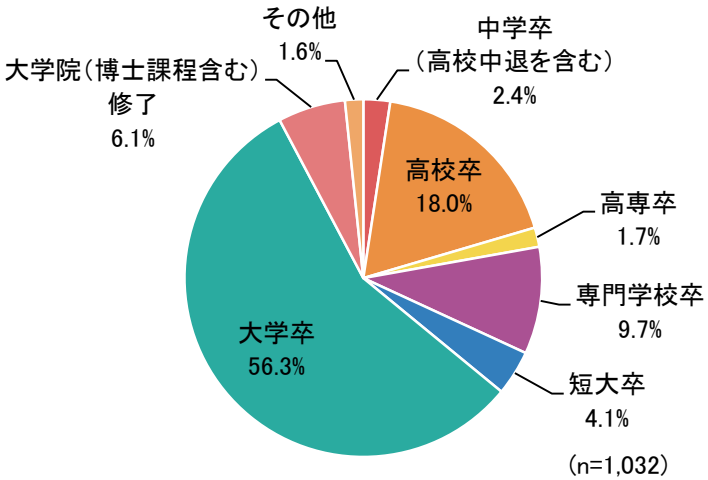
(n=1,032)

年代



(n=1,032)

最終学歴

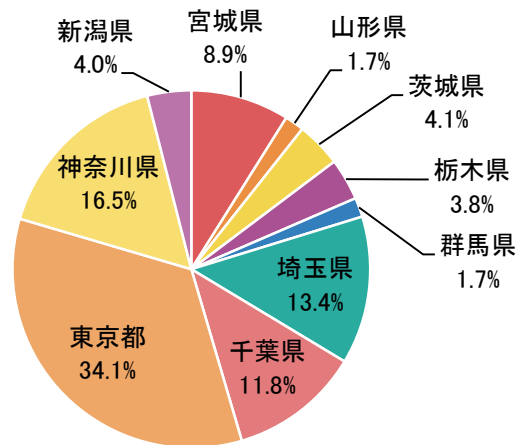


(n=1,032)

1. 回答者の基本属性

■ 回答者の基本属性は以下の通り

現在の居住地

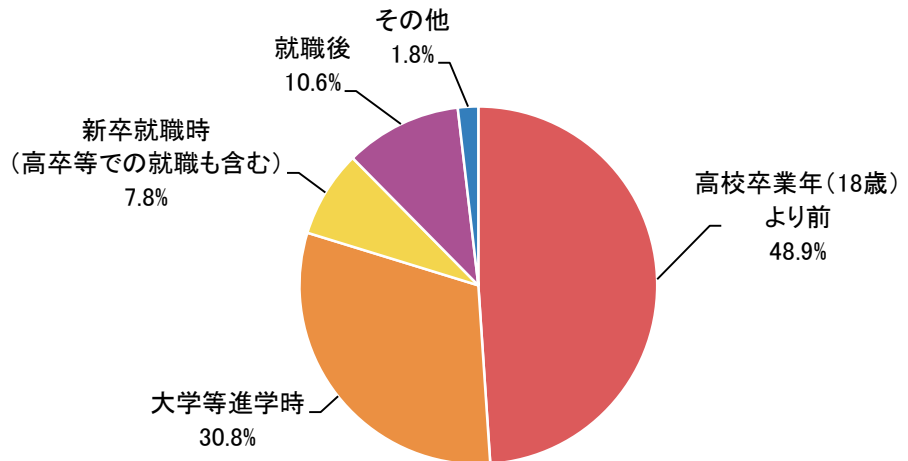


(n=1,032)

(横構成比: %)

	調査数	宮城県	山形県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県
全体	1,032	8.9	1.7	4.1	3.8	1.7	13.4	11.8	34.1	16.5	4.0
性別	男性	671	7.2	1.5	4.9	3.7	1.6	13.1	11.6	35.5	16.4
	女性	361	12.2	2.2	2.5	3.9	1.9	13.9	12.2	31.6	3.0
年代	20歳代	258	8.5	2.7	1.9	3.1	2.7	13.2	13.6	37.6	13.2
	30歳代	258	7.4	1.9	2.7	2.3	2.3	12.4	10.1	36.4	19.8
	40歳代	258	10.9	1.6	3.9	3.5	1.2	15.9	10.9	31.4	16.3
	50歳代	258	8.9	0.8	7.8	6.2	0.8	12.0	12.8	31.0	16.7

最初に福島県から県外へ引っ越した時期



(n=1,032)

(横構成比: %)

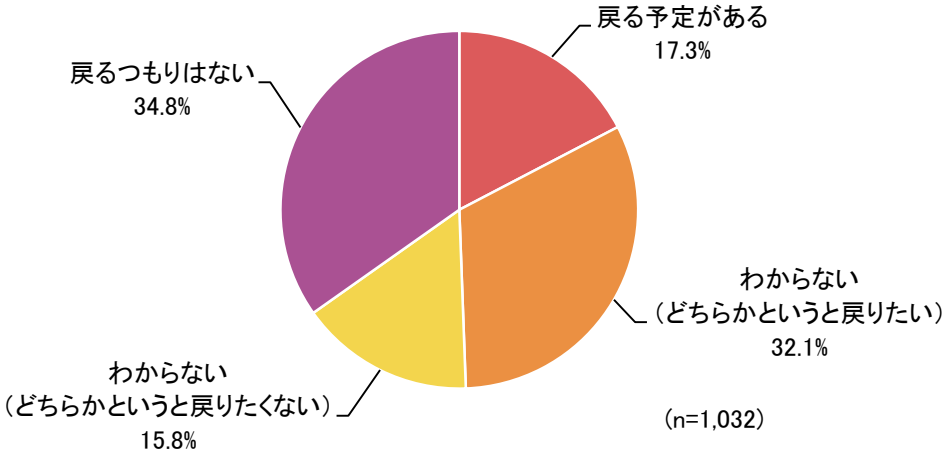
	調査数	前(高校卒業年より)	大学等進学時	含む(新卒就職含む)	就職後	その他
全体	1,032	48.9	30.8	7.8	10.6	1.8
性別	男性	671	50.8	30.0	7.5	10.7
	女性	361	45.4	32.4	8.6	10.2
年代	20歳代	258	51.6	32.9	9.3	4.7
	30歳代	258	51.9	29.1	8.1	9.7
	40歳代	258	46.9	36.0	5.0	10.1
	50歳代	258	45.3	25.2	8.9	17.8
居住	東京圏	782	48.3	33.1	8.1	9.5
	近隣県	250	50.8	23.6	7.2	14.0

2. 福島県へのUターンに関する設問

(1) 福島県へのUターンの意向

- 福島県へのUターン予定として、最も割合が高いのは「戻るつもりはない」(34.8%)で、次いで「わからない(どちらかといと 戻りたい)」(32.1%)、「戻る予定がある」(17.3%)が続く。
- 年代別にみると、「20歳代」は「戻る予定がある」の比率が高いが、年代が上がるほど「戻る予定がある」の比率が低くなり、「戻るつもりはない」の比率が高まっている。
- 居住地別にみると、「東京圏」と比較して、「近隣県」のほうが「戻るつもりはない」の比率が高い。

福島県へのUターン予定



(横構成比: %)

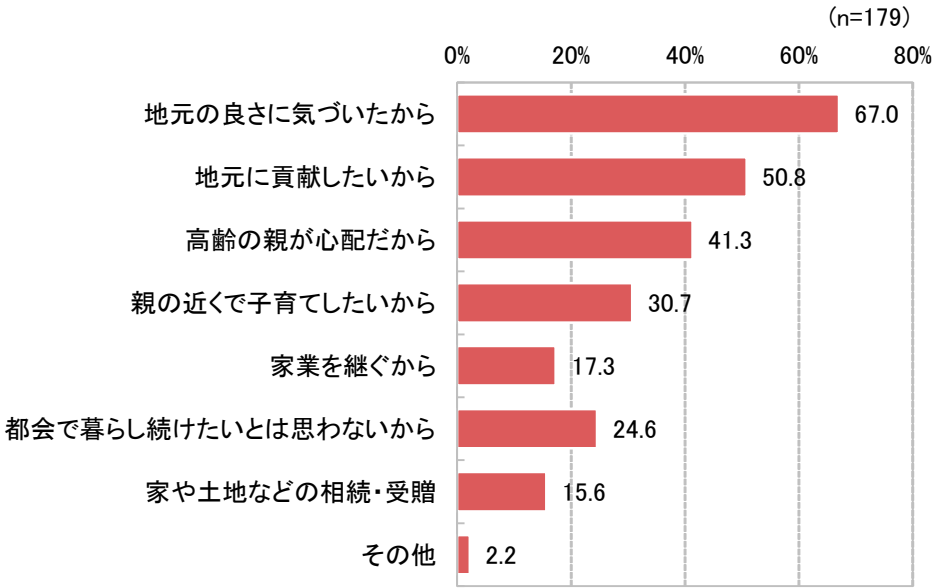
	調査数	戻る予定がある	たらかない(どちらかというともど)ち	たらかない(どちらかというともど)ち	戻るつもりはない
全体	1,032	17.3	32.1	15.8	34.8
性別					
男性	671	19.2	32.8	14.8	33.2
女性	361	13.9	30.7	17.7	37.7
年代					
20歳代	258	22.9	33.7	16.3	27.1
30歳代	258	19.4	37.2	15.5	27.9
40歳代	258	17.1	32.6	14.3	36.0
50歳代	258	10.1	24.8	17.1	48.1
居住					
東京圏	782	17.9	33.2	15.9	33.0
近隣県	250	15.6	28.4	15.6	40.4

2. 福島県へのUターンに関する設問

(1) 福島県へのUターンの意向

- 福島県へのUターンを予定している理由として、最も割合が高いのは「地元の良さに気づいたから」(67.0%)で、次いで「地元貢献したいから」(50.8%)、「高齢の親が心配だから」(41.3%)が続く。
- 男女別にみると、「女性」は「地元の良さに気づいたから」の比率が低い。
- 年代別にみると、「30歳代」は「地元貢献したいから」の比率が高く、「50歳代」は「都会で暮らし続けたいとは思わないから」の比率が高い。
- 居住地別にみると、「近隣県」は「地元の良さに気づいたから」の比率が低い。

福島県へのUターンを予定している理由



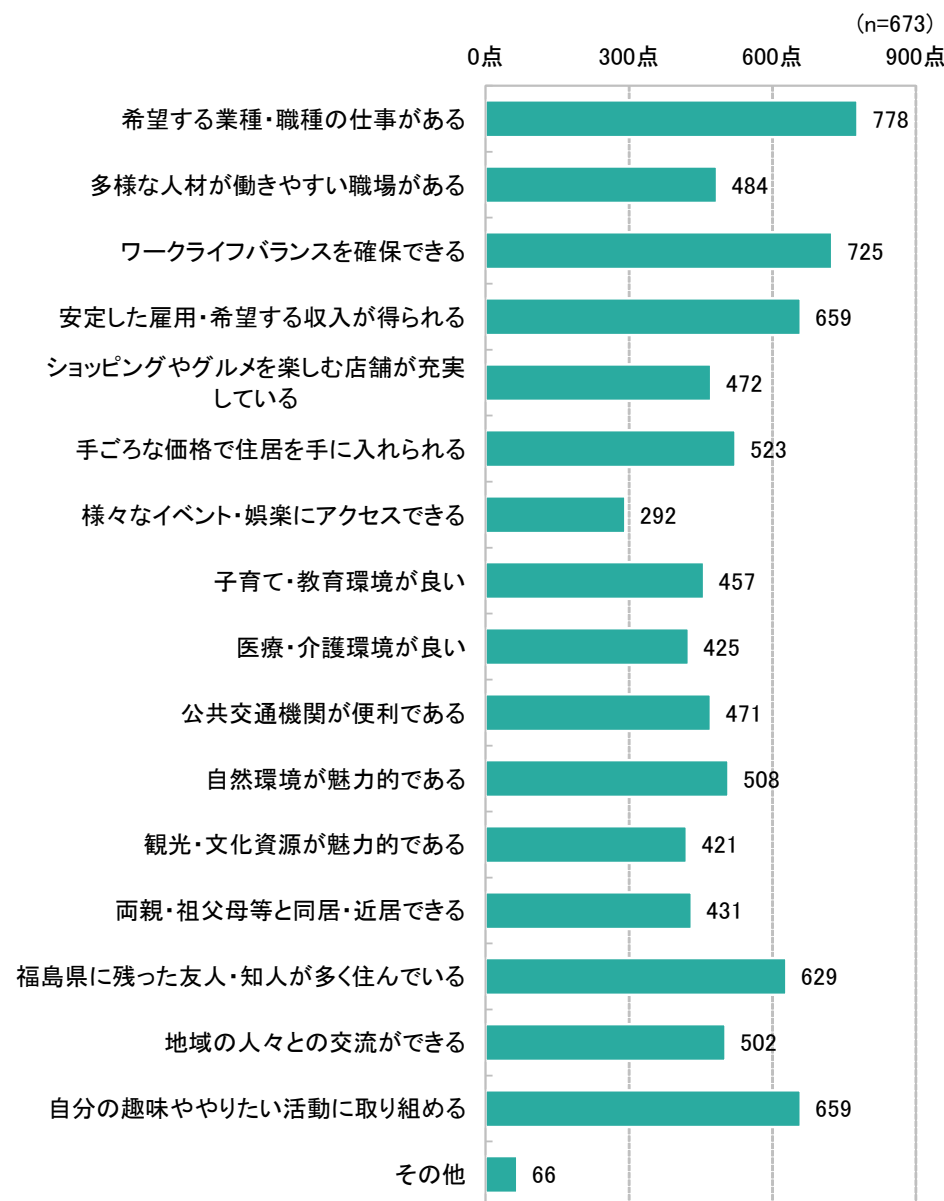
		(横構成比: %)							
	調査数	地元の良さに気づいたから	地元貢献したいから	高齢の親が心配だから	親の近くで子育てしたいから	家業を継ぐから	都会で暮らし続けたいとは思わないから	家や土地などの相続・受贈	その他
全体	179	67.0	50.8	41.3	30.7	17.3	24.6	15.6	2.2
性別	男性	129	71.3	52.7	41.1	20.9	26.4	14.0	0.8
	女性	50	56.0	46.0	42.0	8.0	20.0	20.0	6.0
年代	20歳代	59	61.0	44.1	45.8	20.3	18.6	11.9	5.1
	30歳代	50	66.0	62.0	34.0	38.0	16.0	20.0	0.0
	40歳代	44	70.5	52.3	38.6	25.0	13.6	27.3	2.3
	50歳代	26	76.9	42.3	50.0	19.2	42.3	23.1	0.0
居住	東京圏	140	70.0	48.6	38.6	30.7	17.1	24.3	13.6
	近隣県	39	56.4	59.0	51.3	30.8	17.9	25.6	23.1

2. 福島県へのUターンに関する設問

(1) 福島県へのUターンの意向

- 福島県へのUターンを検討する際に重視する条件について、最も点数が高いのは「希望する業種・職種の仕事がある」(778点)であった。
- 次いで「ワークライフバランスを確保できる」(725点)、「安定した雇用・希望する収入が得られる」(659点)、「自分の趣味ややりたい活動に取り組める」(659点)が続く。

福島県へのUターンを検討する際に重視する条件



(注) 1位～5位までの順位回答を、1位5点、2位4点、3位3点、4位2点、5位1点で点数化して集計した。

2. 福島県へのUターンに関する設問

(1) 福島県へのUターンの意向

- 男女別にみると、「女性」は「福島県に残った友人・知人が多く住んでいる」ことを最も重視している。
- 年代別にみると、「20歳代」「30歳代」は「希望する業種・職種の仕事がある」「ワークライフバランスを確保できる」こと、「40歳代」「50歳代」は「自分の趣味ややりたい活動に取り組める」ことを重視している。
- 居住地別にみると、「東京圏」在住者は「希望する業種・職種の仕事がある」「ワークライフバランスを確保できる」など仕事面を重視しているのに対して、「近隣県」在住者では「福島県に残った友人・知人が多く住んでいる」「自分の趣味ややりたい活動に取り組める」ことを重視している。

福島県へのUターンを検討する際に重視する条件

(点数: 点)										
	調査数	希望する業種・職種の仕事がある	多様な人材が働ける職場がある	ワークライフバランスを確保できる	希望する収入が得られる	安定した雇用がある	充実したサービスが利用できる	ショッピングが楽しめる	住居の手入れが楽	様々なアクティビティがある
全体	673	778	484	725	659	472	523	292	457	425
性別										
男性	448	544	369	501	471	335	355	199	289	275
女性	225	234	115	224	188	137	168	93	168	150
年代										
20歳代	188	221	153	207	155	142	131	117	122	113
30歳代	186	242	118	200	183	108	141	56	172	122
40歳代	165	188	124	194	174	145	134	61	113	95
50歳代	134	127	89	124	147	77	117	58	50	95
居住										
東京圏	524	623	402	601	522	358	422	237	362	324
近隣県	149	155	82	124	137	114	101	55	95	101

	自然環境が魅力的	観光・文化的資源が豊富	同居・近親・祖父母等と暮らす	人・島・知人に残った住友	地域の人々との交流	自分自身の活動に趣味を取り組める	その他
全体	508	421	431	629	502	659	66
性別							
男性	338	302	261	384	346	471	35
女性	170	119	170	245	156	188	31
年代							
20歳代	132	122	110	166	144	147	19
30歳代	155	144	108	154	128	154	25
40歳代	101	95	111	170	125	190	12
50歳代	120	60	102	139	105	168	10
居住							
東京圏	386	348	340	464	379	501	36
近隣県	122	73	91	165	123	158	30

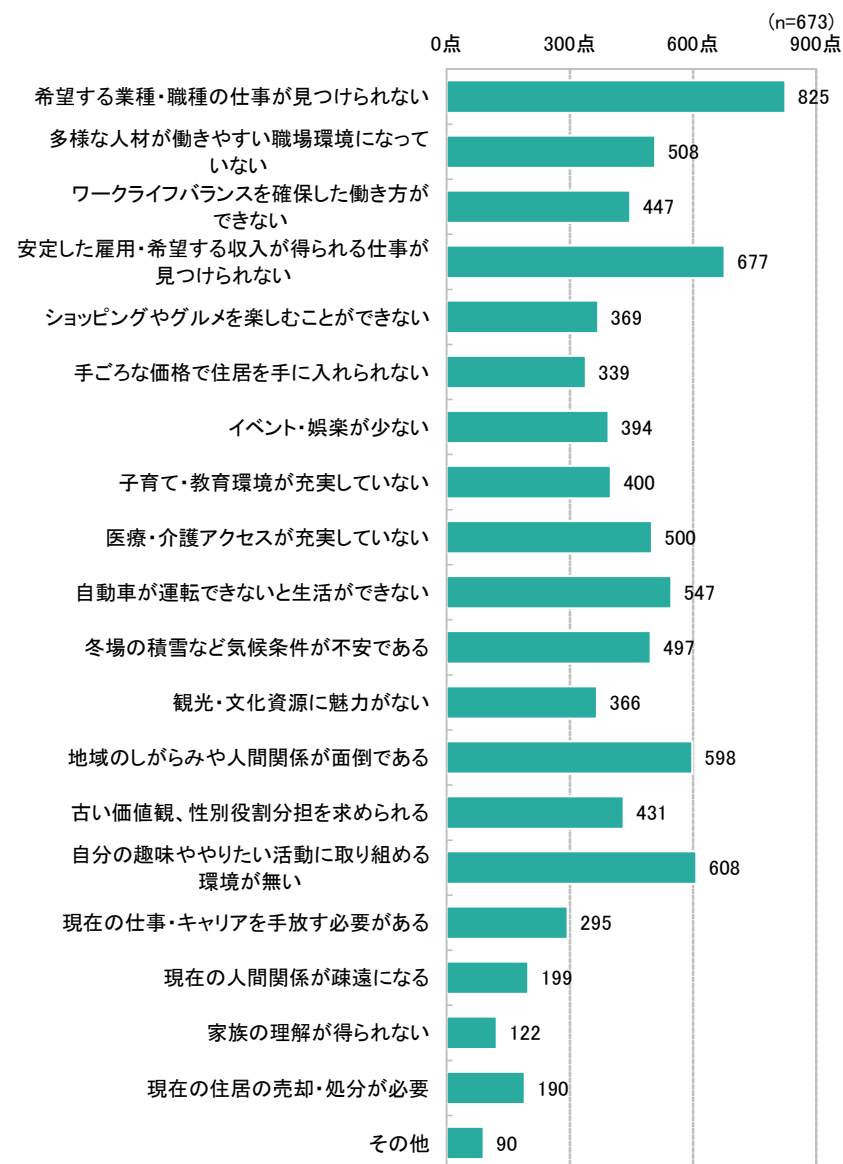
(注)この表は、1位を白抜字、2位をピンク塗りつぶし、3位を赤太字に塗り分けしている。

2. 福島県へのUターンに関する設問

(1) 福島県へのUターンの意向

- 福島県へのUターンを検討する際に不安なことや障壁になり得ることについて、最も点数が高いのは「希望する業種・職種の仕事が見つけれない」(825点)であった。
- 次いで「安定した雇用・希望する収入が得られる仕事が見つけれない」(677点)、「自分の趣味ややりたい活動に取り組める環境が無い」(608点)が続く。

福島県へのUターンを検討する際に不安なことや障壁となり得ること



(注) 1位～5位までの順位回答を、1位5点、2位4点、3位3点、4位2点、5位1点で点数化して集計した。

2. 福島県へのUターンに関する設問

(1) 福島県へのUターンの意向

■ 年代別にみると、「20歳代」は「地域のしがらみや人間関係が面倒である」「自分の趣味ややりたい活動に取り組める環境が無い」ことを不安・障壁とみなしている。

福島県へのUターンを検討する際に不安なことや障壁となり得ること

(点数: 点)

	調査数	仕事が見つけられない	希望する業種・職種の少ない職場環境になくていす	多様な人材が働いていない	きつい働き方がある	ワークライフバランスを確保した働き方がない	安定した雇用・希望する収入が得られない	いそいそと暮らすことができない	手に入る価格で住居を手に入れない	イベント・娯楽が少ない	子育て・教育環境が充実していない	医療・介護アクセスが充実していない	と自動車がない
全体	673	825	508	447	677	369	339	394	400	500	547		
性別	男性	448	591	333	299	394	224	247	283	264	325	349	
	女性	225	234	175	148	283	145	92	111	136	175	198	
年代	20歳代	188	170	161	124	162	122	94	119	152	140	140	
	30歳代	186	189	133	108	188	108	97	132	108	147	157	
	40歳代	165	226	127	125	180	89	74	77	71	114	144	
	50歳代	134	240	87	90	147	50	74	66	69	99	106	
居住	東京圏	524	668	401	356	525	271	293	295	287	381	457	
	近隣県	149	157	107	91	152	98	46	99	113	119	90	

	件冬の不安など気候条件	観光・文化資源に魅力がない	地域関係が面倒である	古い価値観・性別役割分担の求められ	活動の趣味や環境に合わない	現在の仕事・キャリアを放す必要がある	現在の人間関係が疎遠になる	家族の理解が得られない	現在の住居の売却・処分が必要	その他
全体	497	366	598	431	608	295	199	122	190	90
性別	男性	344	295	414	314	475	203	121	103	50
	女性	153	71	184	117	133	92	78	87	40
年代	20歳代	127	118	204	105	195	45	41	40	20
	30歳代	87	116	148	158	181	75	63	52	21
	40歳代	145	77	133	102	135	92	64	56	28
	50歳代	138	55	113	66	97	83	31	42	21
居住	東京圏	428	282	470	330	470	229	144	142	45
	近隣県	69	84	128	101	138	66	55	48	45

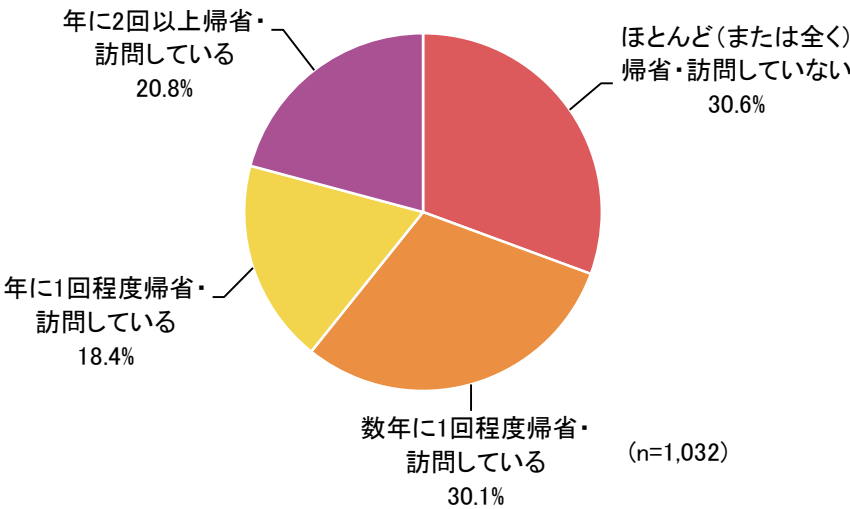
(注)この表は、1位を白抜字、2位をピンク塗りつぶし、3位を赤太字に塗り分けしている。

2. 福島県へのUターンに関する設問

(2) 福島県との関わり方

- 福島県への帰省・訪問頻度として、最も割合が高いのは「ほとんど(または全く)帰省・訪問していない」(30.6%)で、次いで「数年に1回程度帰省・訪問している」(30.1%)、「年に2回以上帰省・訪問している」(20.8%)が続く。
- 年代別にみると、「20歳代」は「数年に1回程度帰省・訪問している」、「50歳代」は「ほとんど(または全く)帰省・訪問していない」の比率がやや高い。
- 居住地別にみると、「近隣県」は「年に2回以上帰省・訪問している」の比率がやや高い。

福島県への帰省・訪問頻度



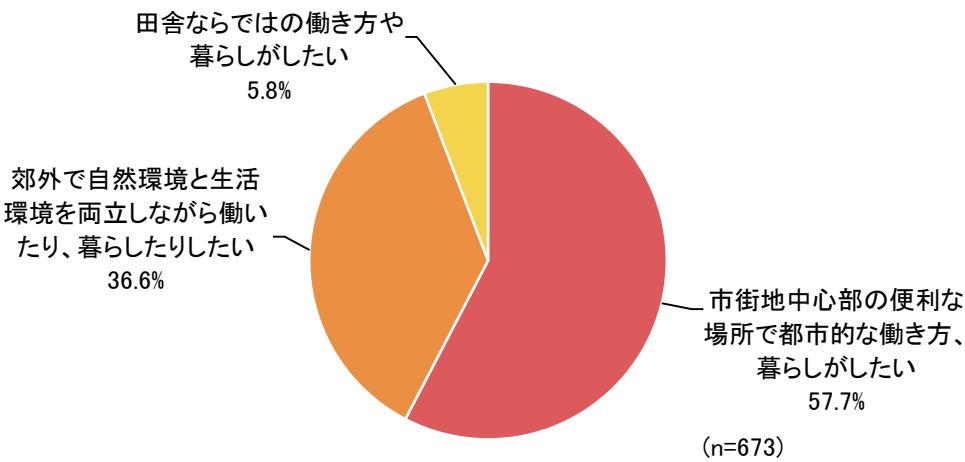
(横構成比: %)					
	調査数	ほとんど(または全く)帰省・訪問していない	数年に1回程度帰省・訪問している	年に2回以上帰省・訪問している	年に1回程度帰省・訪問している
全体	1,032	30.6	30.1	20.8	18.4
性別					
男性	671	33.1	29.8	18.6	18.5
女性	361	26.0	30.7	18.0	25.2
年代					
20歳代	258	23.3	36.8	21.7	18.2
30歳代	258	30.6	31.8	18.6	19.0
40歳代	258	29.8	28.7	19.8	21.7
50歳代	258	38.8	23.3	13.6	24.4
居住					
東京圏	782	31.8	29.4	19.6	19.2
近隣県	250	26.8	32.4	14.8	26.0

2. 福島県へのUターンに関する設問

(3) ライフスタイルについて

- 福島県にUターンする場合に理想とする生活(ライフスタイル)として、最も割合が高いのは「市街地中心部の便利な場所で都市的な働き方、暮らしがしたい」(57.7%)で、次いで「郊外で自然環境と生活環境を両立しながら働いたり、暮らしたりしたい」(36.6%)、「田舎ならではの働き方や暮らしがしたい」(5.8%)が続く。
- 年代別にみると、「20歳代」は「市街地中心部の便利な場所で都市的な働き方、暮らしがしたい」の比率が高く、「50歳代」は「郊外で自然環境と生活環境を両立しながら働いたり、暮らしたりしたい」の比率がやや高い。

福島県にUターンする場合に理想とする生活(ライフスタイル)



(横構成比: %)

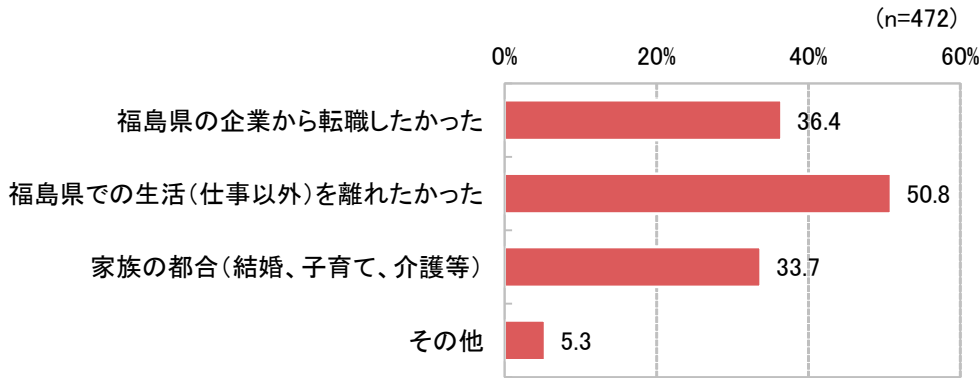
		調査数	市街地中心部の便利な働き方、暮らしがしたい	郊外で自然環境と生活環境を両立しながら働いたり、暮らしたりしたい	田舎ならではの働き方や暮らしがしたい
	全体	673	57.7	36.6	5.8
性別	男性	448	58.0	37.5	4.5
	女性	225	56.9	34.7	8.4
年代	20歳代	188	69.7	28.7	1.6
	30歳代	186	55.4	36.6	8.1
	40歳代	165	55.2	40.0	4.8
	50歳代	134	47.0	43.3	9.7
居住	東京圏	524	57.6	36.1	6.3
	近隣県	149	57.7	38.3	4.0

3. 就職後の転出に関する設問

(1) 福島県を離れた理由について

- 福島県から県外へ引っ越した理由について、最も割合が高いのは「福島県での生活(仕事以外)を離れたかった」(50.8%)で、次いで「福島県の企業から転職したかった」(36.4%)、「家族の都合(結婚、子育て、介護等)」(33.7%)が続く。
- 男女別にみると、「女性」は「家族の都合(結婚、子育て、介護等)」の比率がやや高い。
- 年代別にみると、「20歳代」は「福島県の企業から転職したかった」「福島県での生活(仕事以外)を離れたかった」の比率がやや高い。「40歳代」は「家族の都合(結婚、子育て、介護等)」の比率がやや高い。

福島県から県外へ引っ越した理由



(横構成比: %)

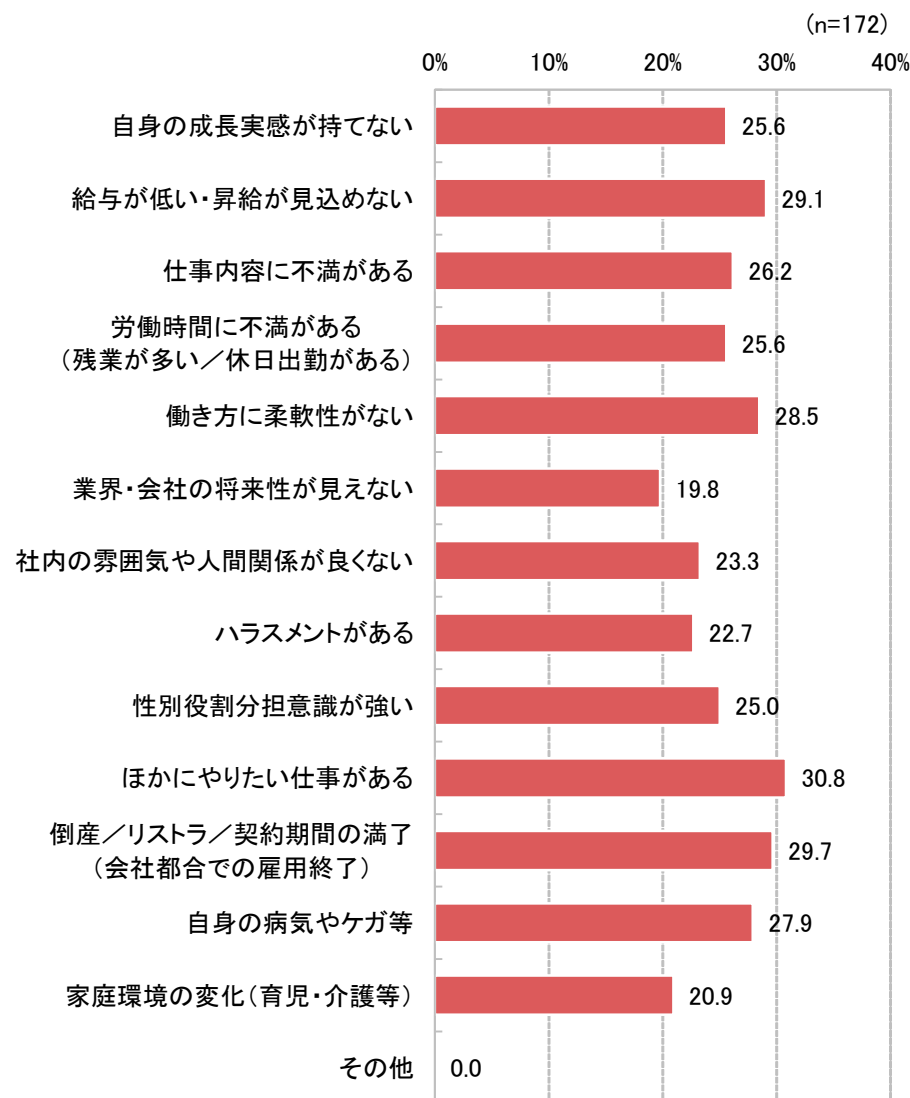
	調査数	福島県からの転職した企業から	福島県での生活(仕事以外)を離れたかった	家族の都合(結婚、子育て、介護等)	その他
全体	472	36.4	50.8	33.7	5.3
性別					
男性	312	41.0	53.5	30.4	4.5
女性	160	27.5	45.6	40.0	6.9
年代					
20歳代	137	44.5	58.4	31.4	2.2
30歳代	119	35.3	55.5	31.1	3.4
40歳代	111	33.3	49.5	40.5	2.7
50歳代	105	30.5	37.1	32.4	14.3
居住					
東京圏	349	39.0	52.1	33.2	3.7
近隣県	123	29.3	47.2	35.0	9.8

3. 就職後の転出に関する設問

(2) 仕事を理由に福島県を離れた人向けの設問

- 福島県の企業から転職・退職した理由について、最も割合が高いのは「ほかにやりたい仕事がある」(30.8%)であった。
- 次いで「倒産／リストラ／契約期間の満了(会社都合での雇用終了)」(29.7%)、「給与が低い・昇給が見込めない」(29.1%)が続く。次いで「就職した」(15.7%)、「家を買った」(13.3%)が続く。

福島県の企業から転職・退職した理由



3. 就職後の転出に関する設問

(2) 仕事を理由に福島県を離れた人向けの設問

- 年代別にみると、「20歳代」は「労働時間に不満がある(残業が多い／休日出勤がある)」の比率が高く、「社内の雰囲気や人間関係が良くない」「ハラスメントがある」の比率がやや高い。「30歳代」は「自身の成長実感が持てない」「ハラスメントがある」の比率がやや高い。
- 居住地別にみると、「近隣県」は「労働時間に不満がある(残業が多い／休日出勤がある)」「ほかにやりたい仕事がある」「自身の病気やケガ等」の比率が高い。

福島県の企業から転職・退職した理由

(構成比: %)											
	調査数	て自身の成長実感が持てない	見給込めがない・昇給が	る仕事内容に不満がある	日(労働時間)に不満がある(残業が多い／休日出勤がある)	い働き方に柔軟性がな	が業界・会社の将来性が見えない	関係内の雰囲気や人間関係が良くない	ハラスメントがある	強性別役割分担意識が	がほかにやりたい仕事がある
全体	172	25.6	29.1	26.2	25.6	28.5	19.8	23.3	22.7	25.0	30.8
性別											
男性	128	27.3	31.3	26.6	27.3	30.5	17.2	22.7	21.9	25.8	31.3
女性	44	20.5	22.7	25.0	20.5	22.7	27.3	25.0	25.0	22.7	29.5
年代											
20歳代	61	19.7	27.9	27.9	36.1	24.6	23.0	31.1	27.9	29.5	27.9
30歳代	42	33.3	33.3	21.4	19.0	33.3	21.4	23.8	31.0	23.8	26.2
40歳代	37	16.2	29.7	35.1	18.9	35.1	18.9	21.6	16.2	29.7	29.7
50歳代	32	37.5	25.0	18.8	21.9	21.9	12.5	9.4	9.4	12.5	43.8
居住											
東京圏	136	23.5	31.6	26.5	22.8	30.1	22.1	21.3	22.1	25.7	26.5
近隣県	36	33.3	19.4	25.0	36.1	22.2	11.1	30.6	25.0	22.2	47.2

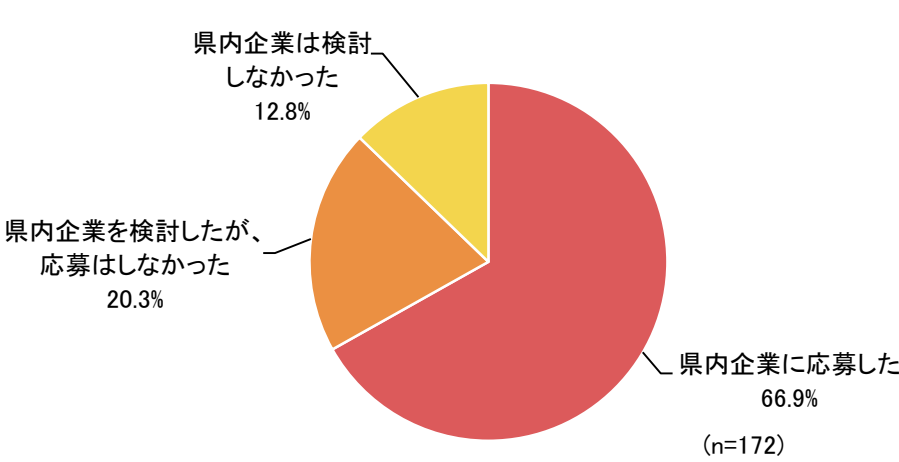
	都合期間での雇用終了(会社契約)	自身の病気やケガ等	児家庭環境の変化(育児)	その他
全体	29.7	27.9	20.9	0.0
性別				
男性	30.5	28.1	21.9	0.0
女性	27.3	27.3	18.2	0.0
年代				
20歳代	34.4	32.8	21.3	0.0
30歳代	28.6	28.6	16.7	0.0
40歳代	29.7	29.7	29.7	0.0
50歳代	21.9	15.6	15.6	0.0
居住				
東京圏	29.4	25.0	19.1	0.0
近隣県	30.6	38.9	27.8	0.0

3. 就職後の転出に関する設問

(2) 仕事を理由に福島県を離れた人向けの設問

- 福島県内での転職についての検討状況について、最も割合が高いのは「県内企業に応募した」(66.9%)で、次いで「県内企業を検討したが、応募はしなかった」(20.3%)、「県内企業は検討しなかった」(12.8%)が続く。
- 男女別にみると、「女性」は「県内企業に応募した」の比率がやや低く、「県内企業は検討しなかった」の比率がやや高い。
- 年代別にみると、「20歳代」は「県内企業に応募した」の比率がやや高い。「50歳代」は「県内企業に応募した」の比率が低く、「県内企業を検討したが、応募はしなかった」の比率が高い。

福島県内での転職についての検討状況



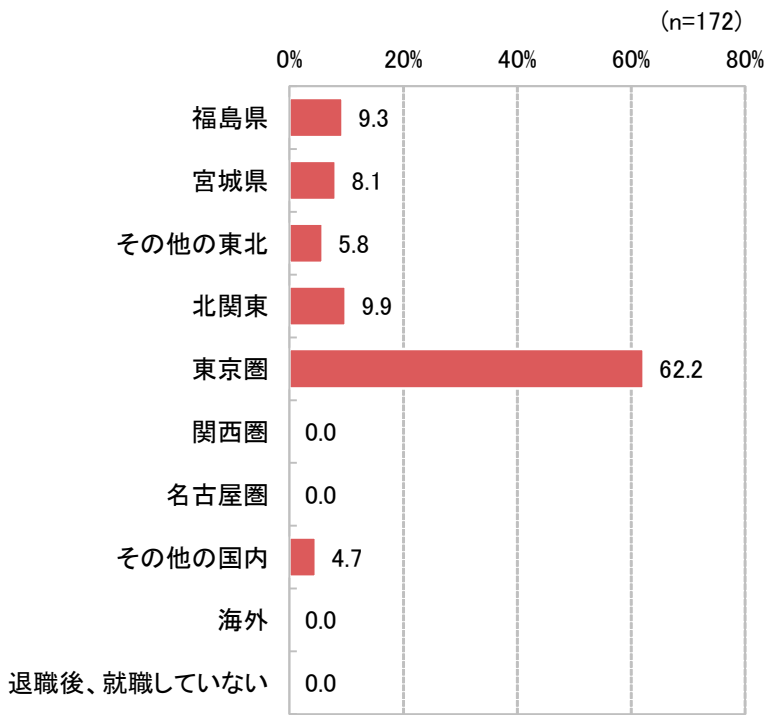
(横構成比: %)				
	調査数	し県内企業に応募した	し県内企業を検討したが応募はしなかった	し県内企業を検討しなかった
全体	172	66.9	20.3	12.8
性別				
男性	128	68.8	20.3	10.9
女性	44	61.4	20.5	18.2
年代				
20歳代	61	73.8	21.3	4.9
30歳代	42	69.0	16.7	14.3
40歳代	37	70.3	10.8	18.9
50歳代	32	46.9	34.4	18.8
居住				
東京圏	136	66.9	21.3	11.8
近隣県	36	66.7	16.7	16.7

3. 就職後の転出に関する設問

(2) 仕事を理由に福島県を離れた人向けの設問

- 福島県の企業を退職後、最初に就職した地域について、最も割合が高いのは「東京圏」(62.2%)で、次いで「北関東」(9.9%)、「福島県」(9.3%)が続く。
- 年代別にみると、「30歳代」は「東京圏」、「40歳代」は「宮城県」「東京圏」の比率がやや高い。「50歳代」は「福島県」の比率がやや高い。

福島県の企業を退職後、最初に就職した地域



(横構成比: %)

	調査数	福島県	宮城県	その他の東北	北関東	東京圏	関西圏	名古屋圏	その他の国内	海外	退職後、就職しない
全体	172	9.3	8.1	5.8	9.9	62.2	0.0	0.0	4.7	0.0	0.0
性別											
男性	128	10.9	7.0	6.3	9.4	63.3	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0
女性	44	4.5	11.4	4.5	11.4	59.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0
年代											
20歳代	61	9.8	3.3	8.2	14.8	57.4	0.0	0.0	6.6	0.0	0.0
30歳代	42	4.8	7.1	7.1	4.8	71.4	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0
40歳代	37	5.4	13.5	2.7	5.4	70.3	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0
50歳代	32	18.8	12.5	3.1	12.5	50.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0
居住											
東京圏	136	11.0	2.2	3.7	4.4	76.5	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0
近隣県	36	2.8	30.6	13.9	30.6	8.3	0.0	0.0	13.9	0.0	0.0

(注) 都道府県別の回答を以下の地域に変換している。

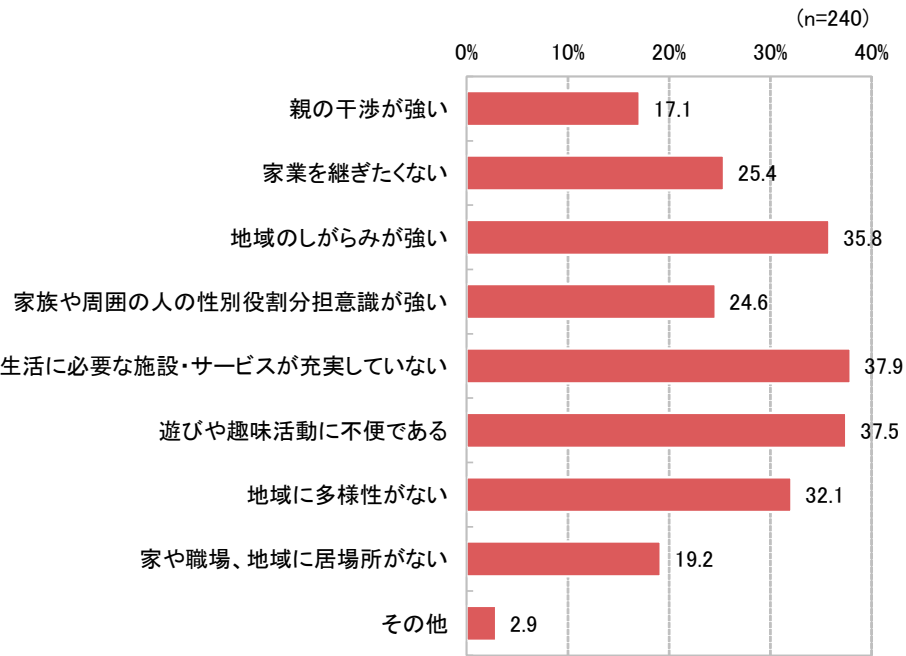
- ・その他の東北(青森県・岩手県・秋田県・山形県)
- ・北関東(茨城県・栃木県・群馬県)
- ・東京圏(千葉県・埼玉県・東京都・神奈川県)
- ・関西圏(滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県)
- ・名古屋圏(愛知県・岐阜県・三重県)

3. 就職後の転出に関する設問

(3) 仕事以外の生活を理由に福島県を離れた人向けの設問

- 福島県での生活を離れたかった理由について、最も割合が高いのは「生活に必要な施設・サービスが充実していない」(37.9%)で、次いで「遊びや趣味活動に不便である」(37.5%)、「地域のしがらみが強い」(35.8%)が続く。
- 男女別にみると、「女性」は「親の干渉が強い」の比率がやや高い。
- 年代別にみると、「20歳代」は「家業を継ぎたくない」「家族や周囲の人の性別役割分担意識が強い」「生活に必要な施設・サービスが充実していない」「家や職場、地域に居場所がない」の比率がやや高い。
- 居住地別にみると、「近隣県」は「地域に多様性がない」の比率がやや高い。

福島県での生活を離れたかった理由



(横構成比: %)

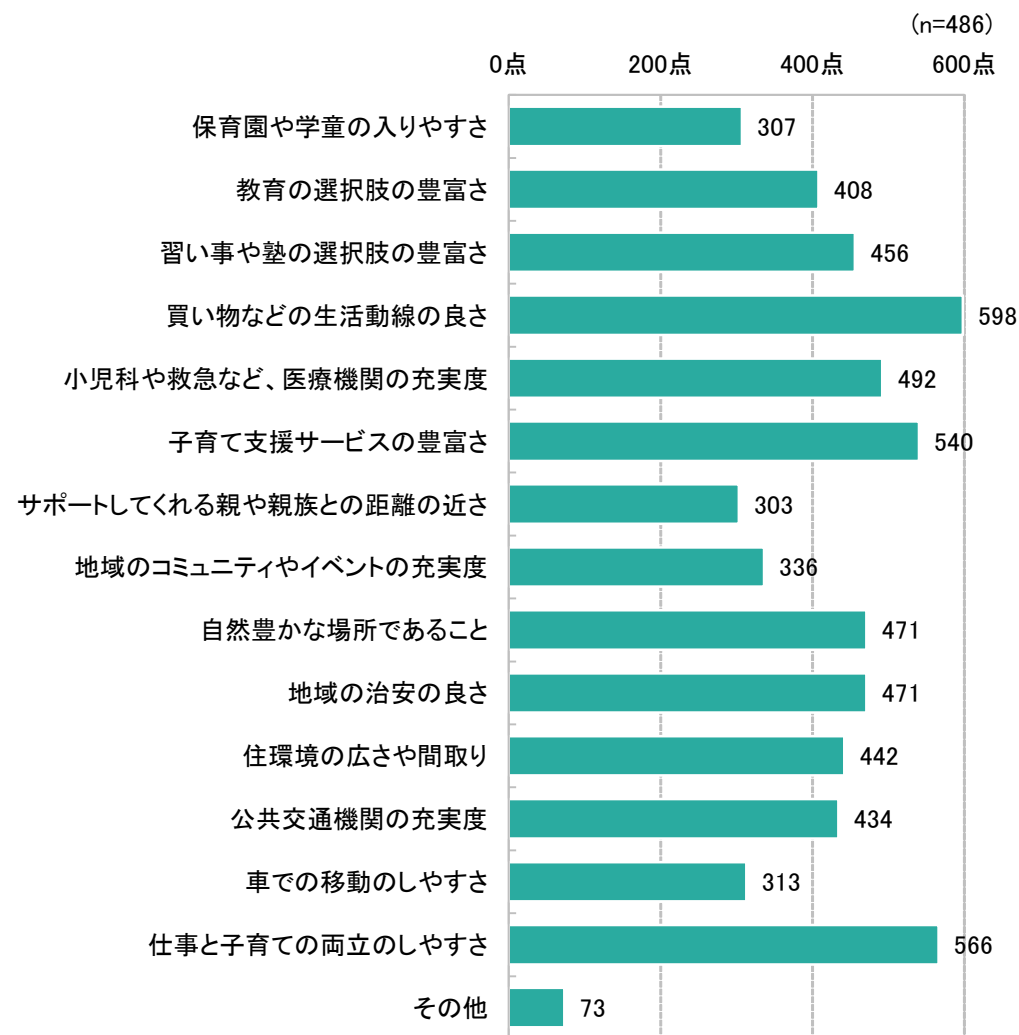
	調査数	親の干渉が強い	家業を継ぎたくない	地域のしがらみが強い	性別役割分担意識が強い	生活に必要な施設・サービスが充実していない	遊びや趣味活動に不便である	地域に多様性がない	家や職場、地域に居場所がない	その他
全体	240	17.1	25.4	35.8	24.6	37.9	37.5	32.1	19.2	2.9
性別										
男性	167	14.4	26.3	35.3	27.5	38.9	38.3	34.1	17.4	2.4
女性	73	23.3	23.3	37.0	17.8	35.6	35.6	27.4	23.3	4.1
年代										
20歳代	80	21.3	31.3	36.3	31.3	43.8	33.8	28.7	26.2	1.3
30歳代	66	16.7	27.3	36.4	25.8	37.8	36.4	36.4	16.7	4.5
40歳代	55	12.7	21.8	34.5	21.8	36.4	38.2	25.5	12.7	0.0
50歳代	39	15.4	15.4	35.9	12.8	38.5	46.2	41.0	17.9	7.7
居住										
東京圏	182	19.2	26.4	35.7	25.3	39.0	39.0	29.7	17.6	2.7
近隣県	58	10.3	22.4	36.2	22.4	34.5	32.8	39.7	24.1	3.4

4. 子育てに関する設問

(1) 子育て環境で特に重視する要素

- 子育て環境で特に重視する要素について、最も点数が高いのは「買い物などの生活動線の良さ」(598点)であった。
- 次いで「仕事と子育ての両立のしやすさ」(566点)、「子育て支援サービスの豊富さ」(540点)が続く。

子育て環境で特に重視する要素



(注) 1位～5位までの順位回答を、1位5点、2位4点、3位3点、4位2点、5位1点で点数化して集計した。

4. 子育てに関する設問

(1) 子育て環境で特に重視する要素

- 年代別にみると、「20歳代」は「自然豊かな場所であること」を最も重視している。「50歳代」は「地域の治安の良さ」を重視している。
- 居住地別にみると、「東京圏」は「買い物などの生活動線の良さ」を最も重視しており、次いで「仕事と子育ての両立のしやすさ」を重視している。「近隣県」は「子育て支援サービスの豊富さ」を最も重視している。

子育て環境で特に重視する要素

(点数: 点)

	調査数	子育て支援サービスの豊富さ	買い物などの生活動線の良さ	習い事や塾の選択の豊富さ	教育の選択肢の豊富さ	保育園や学童の入りのやすさ	自然豊かな場所であること	地域の治安の良さ	地域のコミュニティの充実度	サポートしてくれる親や家族との距離の近さ	子育て支援サービスの豊富さ	小児科や救急などの医療機関の充実度	買い物などの生活動線の良さ	習い事や塾の選択の豊富さ	教育の選択肢の豊富さ	保育園や学童の入りのやすさ	調査数
全体	486	307	408	456	598	492	540	303	336	471	471						
性別																	
男性	300	222	251	309	330	284	324	179	234	310	269						
女性	186	85	157	147	268	208	216	124	102	161	202						
年代																	
20歳代	89	39	72	85	69	58	90	56	76	105	55						
30歳代	130	92	75	126	166	134	187	114	91	127	105						
40歳代	167	125	166	156	238	216	148	88	100	144	171						
50歳代	100	51	95	89	125	84	115	45	69	95	140						
居住																	
東京圏	371	224	306	331	465	374	389	247	281	358	371						
近隣県	115	83	102	125	133	118	151	56	55	113	100						

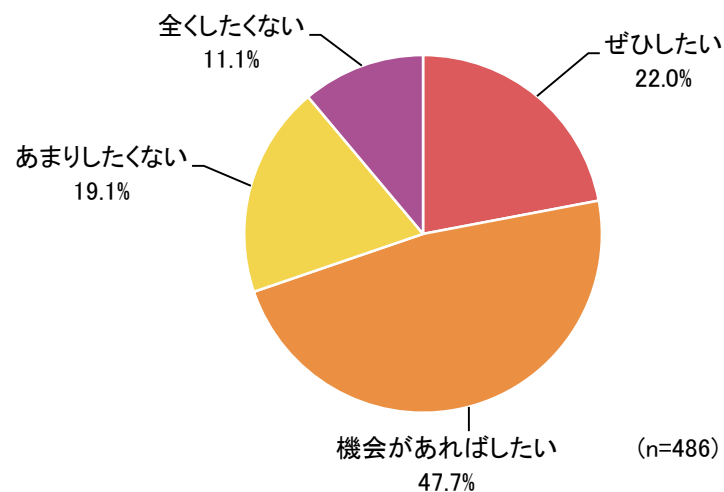
	取 り 環 境 の 広 さ や 間	実 公 度 共 交 通 機 関 の 充	す 車 さ で の 移 動 の し や	立 仕 の 事 と 子 育 て の 両 立 の し や す さ	そ の 他
全体	442	434	313	566	73
性別					
男性	297	259	190	333	38
女性	145	175	123	233	35
年代					
20歳代	83	78	73	66	25
30歳代	111	117	77	143	17
40歳代	169	162	106	216	10
50歳代	79	77	57	141	21
居住					
東京圏	369	329	208	448	58
近隣県	73	105	105	118	15

4. 子育てに関する設問

(2) 福島県での子育ての意向

- 福島県での子育て意向として、最も割合が高いのは「機会があればしたい」(47.7%)で、次いで「ぜひしたい」(22.0%)、「あまりしたくない」(19.1%)が続く。
- 男女別にみると、「女性」は「機会があればしたい」の比率がやや低い。
- 年代別にみると、「50歳代」は「ぜひしたい」の比率が低い。
- 居住地別にみると、「近隣県」は「ぜひしたい」の比率が低い。

福島県での子育て意向



(横構成比: %)

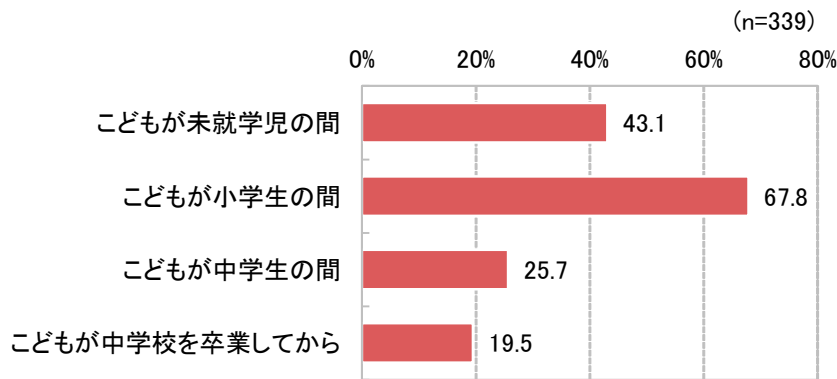
	調査数	ぜひしたい	機会があればしたい	あまりしたくない	全くしたくない
全体	486	22.0	47.7	19.1	11.1
性別					
男性	300	22.7	51.3	16.7	9.3
女性	186	21.0	41.9	23.1	14.0
年代					
20歳代	89	27.0	47.2	15.7	10.1
30歳代	130	26.2	50.8	16.9	6.2
40歳代	167	19.2	46.7	21.6	12.6
50歳代	100	17.0	46.0	21.0	16.0
居住					
東京圏	371	24.5	46.6	18.6	10.2
近隣県	115	13.9	51.3	20.9	13.9

4. 子育てに関する設問

(2) 福島県での子育ての意向

- 福島県で子育てしたい(したかった)と思う期間として、最も割合が高いのは「こどもが小学生の間」(67.8%)で、次いで「こどもが未就学児の間」(43.1%)、「こどもが中学生の間」(25.7%)が続く。
- 年代別にみると、「20歳代」は「こどもが未就学児の間」の比率がやや高い。「50歳代」は「こどもが中学校を卒業してから」の比率が高く、「こどもが中学生の間」の比率がやや高い。
- 居住地別にみると、「近隣県」は「こどもが中学校を卒業してから」の比率が高い。

福島県で子育てしたい(したかった)と思う期間



(横構成比: %)

	調査数	こどもが未就学児の間	こどもが小学生の間	こどもが中学生の間	こどもが中学校を卒業してから
全体	339	43.1	67.8	25.7	19.5
性別					
男性	222	41.0	68.9	26.1	18.0
女性	117	47.0	65.8	24.8	22.2
年代					
20歳代	66	48.5	68.2	22.7	13.6
30歳代	100	48.0	70.0	21.0	12.0
40歳代	110	43.6	70.9	27.3	23.6
50歳代	63	28.6	58.7	33.3	30.2
居住					
東京圏	264	44.3	69.7	25.0	15.9
近隣県	75	38.7	61.3	28.0	32.0